

令和7年4月1日(火)

第694号 (毎月1日発行)

発行所 兵庫県山岳連盟  
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内  
電話(078)940-1850 FAX(078)940-1851

定価1部 50円年間購読料1000円  
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む  
©編集兼発行人 伊藤 一雄

# 兵庫山岳

## 春山登山に向けての警鐘

技術・運営対策副委員長 島添誠

昨秋は10月になっても夏の暑さが続き、気象庁の観測史上最も初雪が遅く11月上旬になりやつと北アルプスや富士山に降雪がありました。

その後は暖冬少雪の予報でしたが12月に入ると一転して、気温が急激に下がり降雪が続く、その後も予想に反し全国的に2月末まで続き積雪の多い冬となりました。(別表の気温と積雪状況を参照)

3月に入ると南岸低気圧が発生し関東甲信地方に雪が降った後、急激に気温が上がり、一日の内の寒暖差が12度以上という日がありました。

(参考・白馬村)  
これから5月にかけての山岳エリアにおいても南岸低気圧の通過後に大幅に気温が上がる可能性があります。積雪の多い今年は、高所では雪庇も大きくその崩落による雪崩が起る可能性が高くなります。また森林限界以下でも大きな雪崩が発生する可能性があります。

北アルプス等の高所での行動ではルート上の積雪をよく

観察し、気温の高い午後には特に注意し、雪崩がおきやすい地形の中には入らないように行動しましょう。状況が悪いと判断したら躊躇せずにルート変更、または撤退を選択し、スピーディーに行動して下さい。

今年は雪崩事故の報告は今のところ少ないですが、これからゴールデンウィークにかけて気温が上昇しはじめる一気に関東甲信地方に雪が降った後、急激に気温が上がり、一日の内の寒暖差が12度以上という日がありました。

雪崩に巻き込まれた際に致命傷になるのは、雪が口や鼻を覆ってしまい呼吸ができなくなる窒息死や樹林や岩への激突です。今年のように積雪の多い場合は、雪崩の規模やサイズが大きくなり埋没の深さも深くなり、救助の際の掘り出しに時間を要し生存率も低くなります。

安全のために最も重要なことは滑落や転落をせず、先行または後続のパーティがいる場合はお互いに注意し雪崩を誘発しない、遭わない行動を

することです。無理な行動は避け、早めに下山やビバークを判断する事が重大な事故を防ぎます。

しかし万が一事故に遭った場合に備えてビーコン、プローブ、シヨベル、ビバーク用のツェルト、保温用の衣類、十分な非常食、火器、ファーストエイドキット等を携行しましょう。またいざという時に慌てないように、ビーコンによる捜索と掘り出し等の救助法を練習し、合わせて掘り出し後の処置のためのファーストエイドの練習もしておきましょう。

さて最近の登山装備は電子機器が多くなり、ビーコン使用時に特に注意したい事があります。機器が発生する電波との干渉で、ビーコンの距離や方向の表示に誤作動を起こすゴースト現象が発生します。電波が発生する携帯電話、捜索用のヒトココ、無線機等に影響を受けます。行動中に送信モードで装着する場合はこれらの機器と20cm以上離し、捜索時に受信モードにする時は50cm以上離すか他の機器の電源を切して下さい。では十分な準備を行い安全な春山登山を楽しんで下さい。

秋冬シーズンの月別の平均気温と降雪の合計の深さ 長野県白馬村(気象庁データより)

|     | 降雪の深さ<br>22/11-23/5<br>単位:cm | 降雪の深さ<br>23/11-24/5<br>単位:cm | 前年比<br>単位:cm | 降雪の深さ<br>24/11-25/2<br>単位:cm | 前年比<br>単位:cm |
|-----|------------------------------|------------------------------|--------------|------------------------------|--------------|
| 11月 | 0                            | 26                           | 26           | 27                           | 1            |
| 12月 | 148                          | 62                           | -86          | 214                          | 152          |
| 1月  | 207                          | 134                          | -73          | 193                          | 59           |
| 2月  | 111                          | 70                           | -41          | 173                          | 103          |
| 3月  | 10                           | 178                          | 168          | 未発表                          | -            |
| 4月  | 0                            | 0                            | 0            | 未発表                          | -            |
| 5月  | 0                            | 0                            | 0            | 未発表                          | -            |

|     | 平均気温<br>22/11-23/5<br>単位:℃ | 平均気温<br>23/11-24/5<br>単位:℃ | 前年比<br>単位:℃ | 平均気温<br>24/11-25/2<br>単位:℃ | 前年比<br>単位:℃ |
|-----|----------------------------|----------------------------|-------------|----------------------------|-------------|
| 11月 | 6.9                        | 6.2                        | -0.7        | 6.6                        | 0.4         |
| 12月 | -0.4                       | 1.2                        | 1.6         | -1.2                       | -2.4        |
| 1月  | -2.7                       | -2                         | 0.7         | -2.3                       | -0.3        |
| 2月  | -2                         | -0.5                       | 1.5         | -3.2                       | -2.7        |
| 3月  | 4.8                        | 1.3                        | -3.5        | 未発表                        | -           |
| 4月  | 8.9                        | 11.2                       | 2.3         | 未発表                        | -           |
| 5月  | 13.3                       | 13.8                       | 0.5         | 未発表                        | -           |

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場

阪急王子公園駅から徒歩3分



緑の中のミーティングルーム

王子サロン (神戸登山研修所)

神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)

TEL(078)-940-1850 FAX(078)-940-1851 <http://www.hma.jp/>

／神戸本店がセンタープラザにお引越し！／



登山、アウトドアのことなら  
好日山荘にご相談ください!

好日山荘 センタープラザ神戸本店

神戸市中央区三宮町1丁目9-1 センタープラザ3F  
(TEL)078-335-8166 (営業時間)11:00~20:00

好日山荘

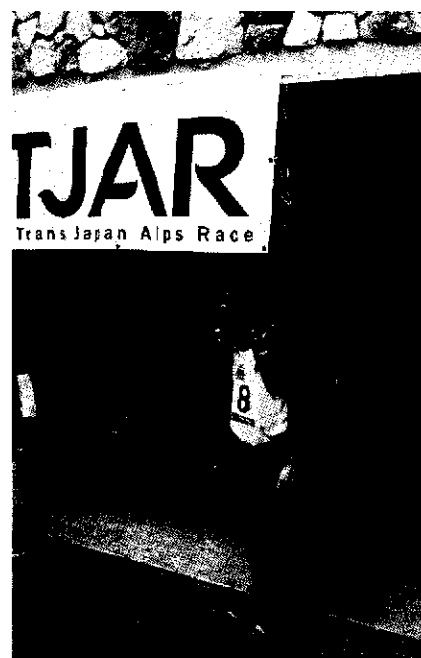
## トランスジャパンアルプスレースに挑戦(Ⅲ)

丹波山岳会 盧田 恭卓

レース3日目、8月13日。同じ場所です。陽が昇り暑さが増してききました。境峠9時50分通過、そこから藪原駅まで下り基調で、しばらく道路脇に生えている野いちごを摘みながら距離を忘れて歩きました。山菜やキノコを探りながら歩くと、いつの間にか山深く入り込んでしまいうあ現象の応用です。

天気予報は晴れ。目指すのは60km先の中央アルプス木曾駒ヶ岳コガラ登山口。この日は、選手のアアシスと名高い「スーパーマーケット」と「グレンパークさわんど」から奈川渡ダムの区間にも、側道の狭い(ほんと狭い)トンネルがありましたが、早朝の上り車線は空いておりジョギングで通過。過去一番早い通過に拍子抜けしたほどです。

ダム駐車場に補給し、まだ陽の低い時間に淡々と一定のペースで木曾に向け野麦街道を進みました。時々道行く方や地元の方に応援をいただきました。奈川渡ダムから10km先にあった軒屋商店では、境峠前の長めの自販機休憩所を取りました。お店の方からスイカを勧めてもらいましたが、ルール違反となるため我慢で



心地が良すぎて90分も滞在してしまいました。そしてまた炎天のもとへ。道路の電光掲示板には危険な暑さ、不要な外出は中止と表示されていた。

チェックポイントである藪原駅を過ぎ、木曾路を南下します。途中のコンビニ一軒目でアアシスを、二軒目ではスーパーマーケットと「に到着しました。ここは店長さんのご厚意で選手用の休憩スペースやアイシング用の水バケツが用意してあります。冷房の効いた店内に飛び込むとそこはまさにオアシス。冷やしきしめんやシーチキン、揚げ餅、メロンに脱アルコールビール(アミノ酸たっぷり疲勞時に好適)を購入。追加で塩分補給用の味噌も。ともに進んで選んだ選手とランチタイムです。雑誌の取材を受けたり、脚だけでなく頭も冷やしながら居

心地在りすぎて90分も滞在してしまいました。そしてまた炎天のもとへ。道路の電光掲示板には危険な暑さ、不要な外出は中止と表示されていた。チェックポイントである藪原駅を過ぎ、木曾路を南下します。途中のコンビニ一軒目でアアシスを、二軒目ではスーパーマーケットと「に到着しました。ここは店長さんのご厚意で選手用の休憩スペースやアイシング用の水バケツが用意してあります。冷房の効いた店内に飛び込むとそこはまさにオアシス。冷やしきしめんやシーチキン、揚げ餅、メロンに脱アルコールビール(アミノ酸たっぷり疲勞時に好適)を購入。追加で塩分補給用の味噌も。ともに進んで選んだ選手とランチタイムです。雑誌の取材を受けたり、脚だけでなく頭も冷やしながら居

す。スタッフの「TJARはくなくなってきた(笑)」のコメントに、そういうレースだったなと思ひ直し、小屋の長期滞在は失格となるため、すっかり嵐の模様になっていた外に飛び出し、ビバーク態勢に入りました。体の震えが強くなる中、過去最速でシェルターを張って中に飛び込みました。

必死だったので気づきませんでした。クマが怖いので奇声を上げ進みました。8合目水場で選手に追いついたときに雨が降り始めレインウェアを着。玉乃窪山荘到着は14日の夜2時ごろでした。そこから先は風を遮るものがないためインナーとレインウェアを追加し、防寒手袋に交換。頂上木曾小屋からは雨に加えて霧が濃くなり、頂上を超えた辺りから体の冷えを感じ始めました。

近くにいた選手も離れ、視界が悪い中、遠くの明かりと地図を頼りに宝剣小屋に向かいました。徐々に体が冷えてきていました。

有人チェックポイントである宝剣小屋に着いたのは2時50分。体が震えており低体温によるリタイアが頭をよぎりました。



た。シェルターの薄い布地の内と外は別世界。思わず笑ってしまいました。

震える体で湯を沸かし、麓で買ったカップ麺をこんなにうまいものはあったのかという感動とともにいただきました。しばらくすると震えは収まり、泊まったのがキャンプ場でなかったためにきまりも悪く、麓で天候判断をし、仮眠ではなくしっかり休んでいれば陥らなかった事態に反省しつつ、そそくさとシェルターを畳んで出発しました。島田娘まで来ると気持ちは落ち着き、寝不足ながらも太陽の温かさに癒され、濡れた服を乾かしながら先に進むことができました。

低体温から回復した体に寝不足が加わり、中央アルプス全般疲勞感の多い縦走となりました。あまり景色は覚えていません。

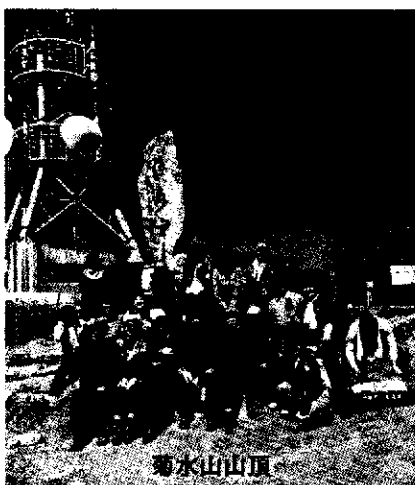
木曾殿小屋で水を買ひ、酷暑の中濡れたものを完全に乾かし、空木岳着は12時頃、駒石で10分の仮眠。

小地獄の辺りで眠気と疲勞と空腹の三重苦でレースを辞めたくなりましたが、その先にある駒ヶ根での食事を思い浮かべて乗り越え、補給を摂ってしっかりと休み、下山したの16時30分でした。

(次号に続く)

## コバノミツバツツ咲く 再度山地の春を訪ねる

開催日…3月20日(木・祝)  
参加者…28名  
コース…神戸電鉄鈴蘭台駅→  
菊水山登山口→菊水山山頂  
→鍋蓋山山頂→鍋蓋北尾根  
→西山散策路→再度公園→  
大龍寺→市ヶ原→布引貯水  
池→みはらし台



菊水山山頂

今年の3月は温暖化の進む  
近年を予測して計画していた  
が、コバノミツバツツなどこ  
ろか洞川梅林の梅もつぼみ固  
しの状態であった。

気象庁の1～3月の神戸  
市の気温統計を調べてみる  
と、2024年2月度の平均  
気温に対して2025年2  
月度はマイナス3度4分も低  
かった。これでは3月のこの  
時期に山間部で開花している

ハズもない。本件を集合地で  
詫び、「再度山の歴史を語る  
ハイキングでお許しを！」と  
させて頂いた。

菊水山への登りは南から登  
る縦走コースの高低差が約  
200m、それに対し北側からだ  
と約150mで南側の急斜面に比  
べ北側からは比較的緩やかな  
斜面と成っている。



菊水山はかつては「城ヶ越  
山」と呼ばれていたこと。そ  
れが昭和10年に行われた大楠  
公60年祭時の記念として植樹  
された松の木が菊の御紋をあ  
しらっていたため、その後、  
菊水山と命名変更された。

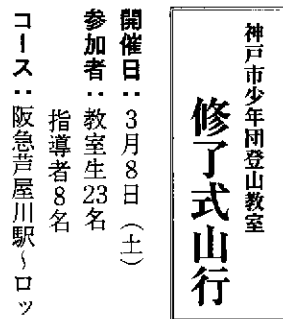
山頂には「亀の丘」(Turtle  
Hill)「すぐ下に」「へそ岩  
(Navel Rock)」などの命名も  
あったこと。

そんなことを  
三角点のある  
山頂での休息  
時間に説明す  
る。

縦走コース  
を東へ進むと  
すぐに岩場の  
急な下りとな  
る。ここから  
有馬街道を跨

ぐ天王吊橋までの間を昔は  
「神戸アルプス」と称してい  
た。

橋の中間あたりから北側を  
望むと、加藤文太郎や多田繁  
次がロッククライミングのゲ  
レンデとして利用していたス  
タンドロック岩が望める。



神戸市少年団登山教室

## 修了式山行

開催日…3月8日(土)  
参加者…教室生23名  
指導者8名

コース…阪急芦屋川駅→ロッ  
クガーデン→雨ヶ崎七曲  
り→六甲最高峰→魚屋道→  
有馬温泉

この日は土曜日で登山客も  
多く、またトレイルランの大  
会があり、六甲山最高峰から  
ゴールの湯泉神社までの間で  
コースが重なっているのでは  
お互いに道を譲り合うよう注  
意をした。

高座の滝に到着し、ここか  
ら急坂が始まり多くの登山者  
も一緒に登る。険しくゴツゴ  
ツした岩の間を頑張って登  
り、長く続く急坂を一気に登  
り切った。

呼吸を整えながら地図で現  
在位置を確認するよう指示。  
地形や高圧電線などを目安に  
現在位置を探した。



午前11時前に風吹岩に到着  
ししばし休憩。教室生は岩の  
上に登り目の前に広がる神戸  
の街を見ておりまだまだ元気  
だ。

木々の中を通り、ゴルフ場  
を横切り、登ったり下ったり  
しながら雨ヶ崎経由、住吉川  
上流の七曲り入口の河原に到  
着し昼休憩をとる。

今回の山行で一番長い登り  
七曲りを登りはじめ気合を入  
れてゆつくりゆつくり登る。  
風化した岩の間や、不ぞろい  
の木や石の階段を息を切らせ  
ながら歩を進めた。少し遅れ  
る教室生もいたが一軒茶屋傍  
の広場に到着。

最後の登りである六甲山最  
高峰までの登り坂を進み、午  
後2時に六甲山最高峰の記念  
碑前に到着。日は出ていなく  
ても頂上を踏むのは気持ち良  
い。

みんなで記念撮影をして魚  
屋道を有馬の湯泉神社を目指  
して下り始める。

このころからトレイルラン  
のランナーが我々の  
横を走り抜けるよう  
になった。お互いに  
声を掛け合い、進路  
を譲るなどして注意  
し合った。

特に問題もなく一  
緒に早春の六甲山を  
楽しめて良かったと  
思う。



六甲山最高峰で記念写真

魚屋道にある東屋で出迎え  
と合流して一緒に湯泉神社に  
下りる。湯泉神社では多くの  
保護者の方や神戸市スポー  
ツ協会の方が迎えに來られ、教  
室生全員のゴールを待つて今  
年度少年団登山教室の修了式  
を開催した。

この少年団登山教室に3  
年間連続で参加した教室生、  
今年度11回の登山教室に皆勤  
の教室生4人を紹介して大き  
な拍手がわく。またこの日が  
誕生日の教室生にみんなでお  
祝いの大きな拍手。

登山教室最後の山行を終え  
て大きな達成感と満足感に満  
ちた子供達のにこやかな笑顔  
に我々も大きな喜びを得た。  
来年度もまた新しい教室生  
を迎え登山教室を続けてゆき  
たい。

(ジュニア委員会  
委員長 太西幸次)

(普及委員会  
委員長 吉野 宏)

最新情報はこれから  
[www.montbell.jp](http://www.montbell.jp)